

魔法のプロジェクトを始めたきっかけ



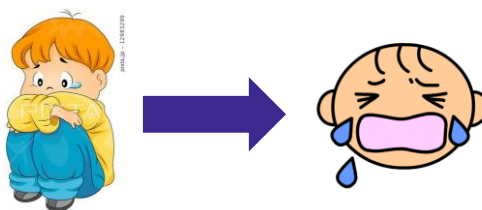
Aさんの困り具合①

自分の思いを周りの人に正しく伝えることが難しい。



Aさんの困り具合②

一人で過ごすことが苦手で、誰か隣にいないと不安定になることが多い。

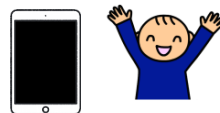


家庭での困り具合



活動目的

- ① やりたいことを周りの人に伝えることができる。



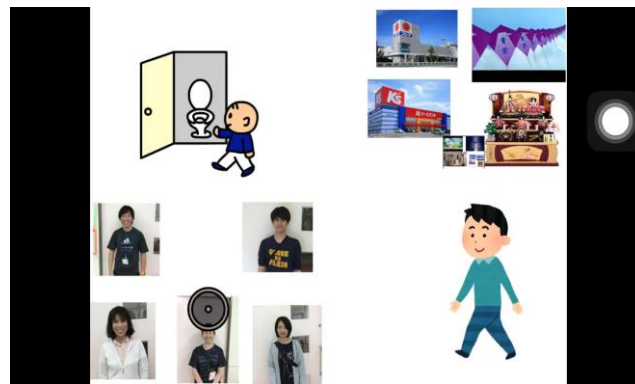
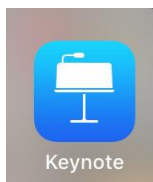
- ② 一人で落ち着いて過ごすことができる。



実際の取り組み①

4月～6月

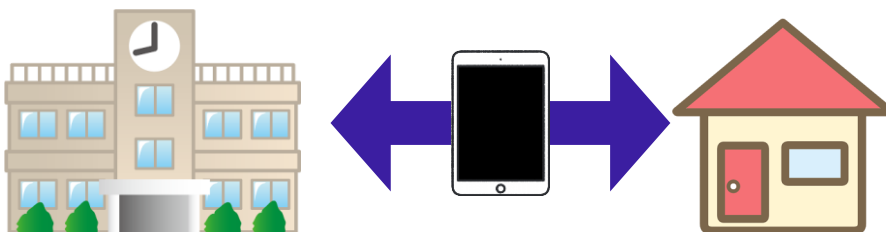
- ① やりたいことを正しく伝えることができるツールの作成。
- ② 落ち着いて過ごせる環境作り。
- ③ iPadを使い、学校と家庭の様子を共有する。



- 遊びたい先生を呼べる。
- 好きなCMソングが聴ける。
- 散歩やトイレに行きたいことを伝えられる。

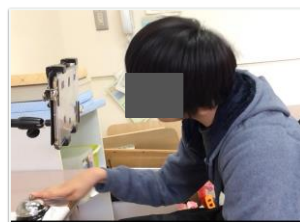


- ・ 1人で楽しめる物や操作できる物、ベルの設置。
- ・ iPadをアームで固定した。



iPadを使い、学校と家庭の様子を共有する活動。

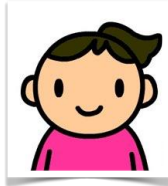
前期を振り返って



- iPadを使って、やりたいことを正しく伝えたり遊びたい教員を正確に呼べたりできるようになった。
- 落ち着いて1人でCMソングを聴いたり、お茶を飲んだりして過ごせるようになった。
- 困ったことがあるとベルで、教員を呼ぶことができるようになった。



やりたいことが伝わって嬉しそうですね。



1人で落ち着いて過ごしてすごいです！！



しかし・・・

**集中力の低下
自走ができない!**

実際の取り組み②

9月～12月

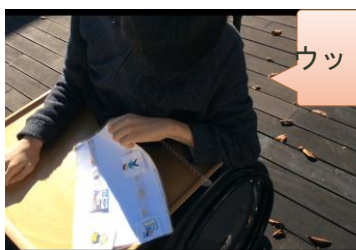
- ① 教室外でも自分の思いを正確に伝えられるツールを作成。





大好きな給食から練習！

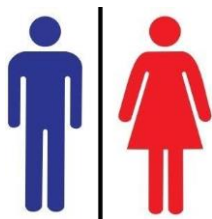
様々な場所で伝える練習に取り組んだ。



ウッドデッキ



図書室

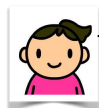




学校での変化

- 様々な場所で自分のやりたいことをカードで伝えられるようになった。
- 担任以外の教員にもカードでやりたいことを伝えることができた。
- 教室でもカードを使うようになった。

7月末の日誌に・・・

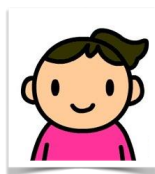


家でもCM教材を使っ
てみたいです。



夏休みに家庭訪問を行った。

9月末の日誌に・・・



iPad miniだと画面が小
さいので本人用のを
買いました。



アンパンマンのアプリとお尻探偵が好きですよ。

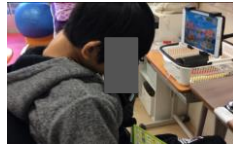
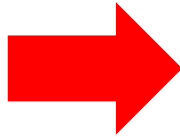


アプリカードを使っている様子

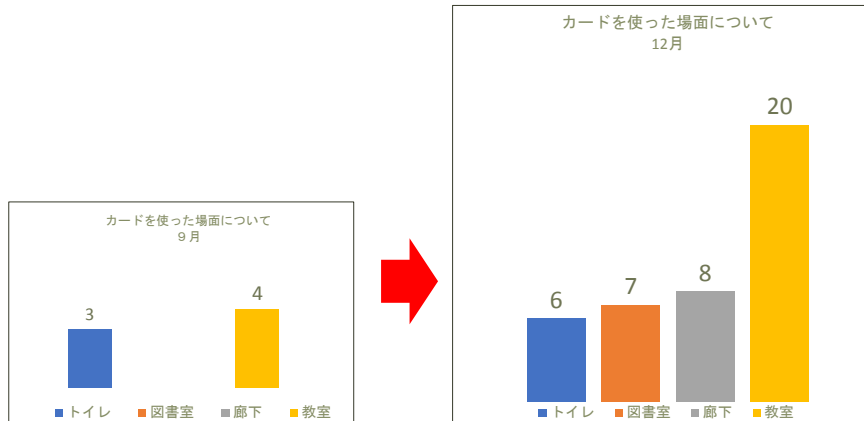
家での変化

- 家庭用のiPadの購入によって、本人の好きなアプリが増え、好きなことが増えた。
- アプリカードを作成したことで、家でもやりたいことを正しく伝えられるようになった。

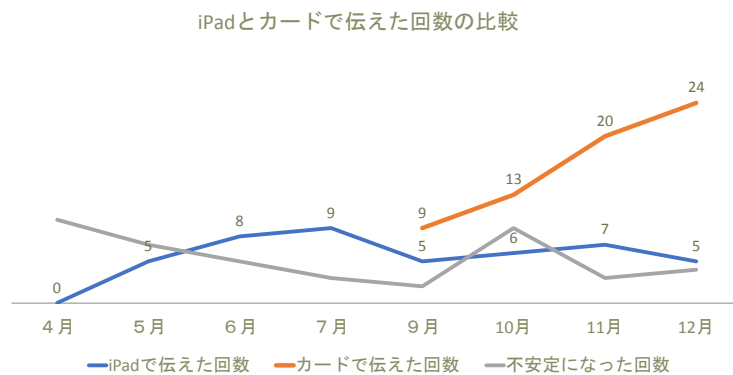
ここまでの取り組みを振り返って



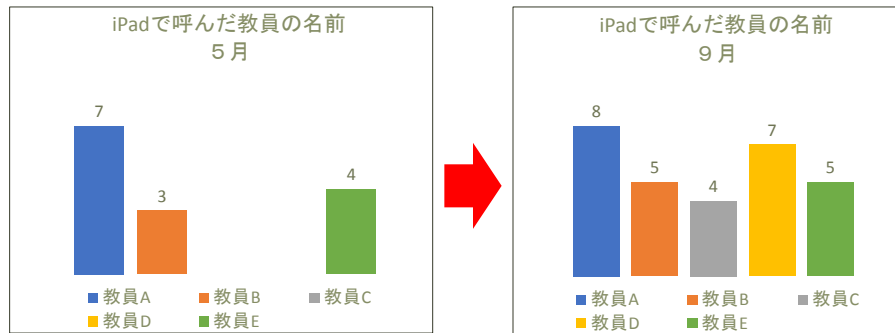
気づきとエビデンス



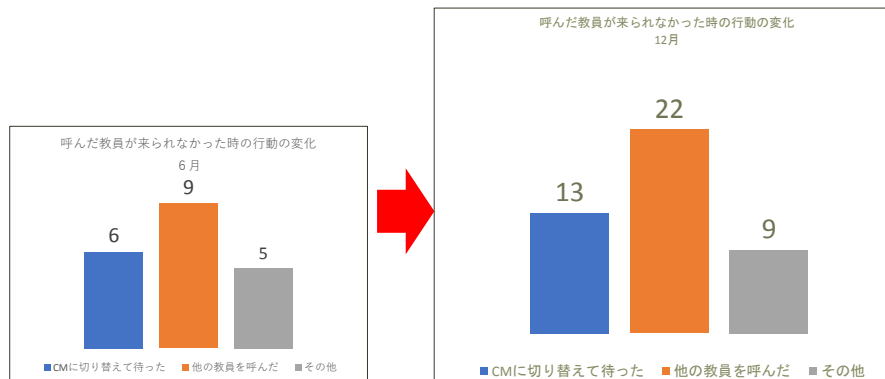
- ・カードを渡す場面が増えた。
- ・教室でカードを渡すようになった。



コミュニケーションツールがiPadからカードにかわっていった。

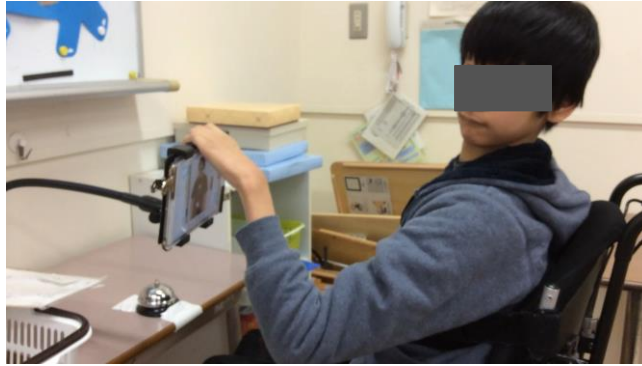


呼ぶ相手が増えた。

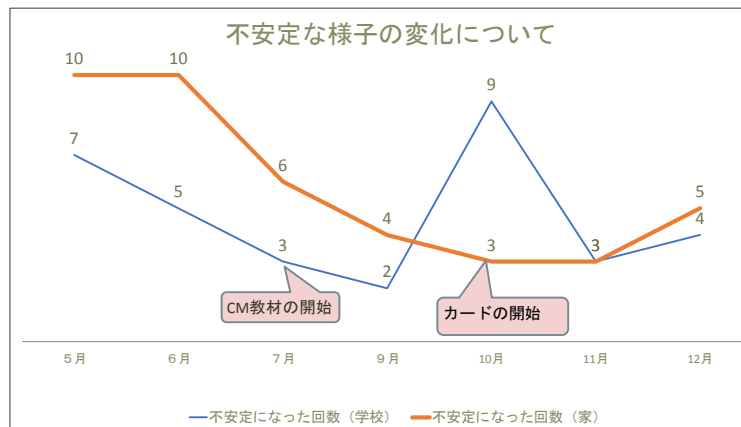


- ・ CMを聴いて待つことが増えた。
- ・ 他の教員を呼ぶことが増えた。

呼んだ教員が来られなかった時の様子

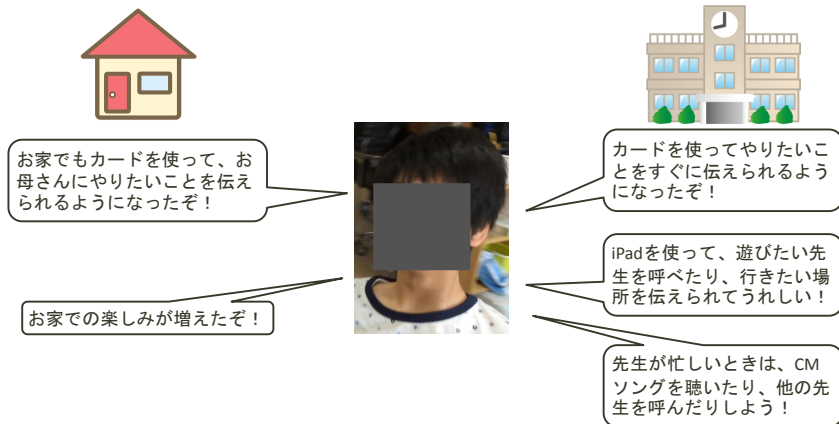


周りの様子を確認し、手が空いている教員を呼ぶことができようになった。

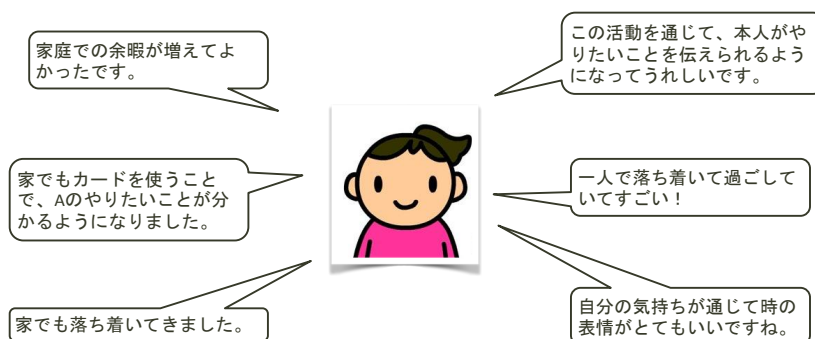


学校や家庭で、iPadや写真カードを使うことにより、伝わったという実感を持ち、その結果不安定になった回数が減ってきたと考える。

Aさんの気持ち



保護者の気持ち



今後の見通しについて

- 口頭やサインなどでも伝えられることを増やし、場面や状況によって手段を使い分けられる力を伸ばしていく。
- 家、学校、外出先など場所がかわっても、本人が必要とするコミュニケーション手段を提供できるようにご家庭と連携して取り組んでいく。
- 自分の感情も伝えられるように学習を積み重ねていく。

ご静聴ありがとうございました。